

- 8月17,18日 日帰り人間ドック
- 8月22日 労務委員会
 - ①今年度の運営について
- 8月23日 近代化研究会定例会
 - 「金沢市政について」
 - 金沢市長 山出 保氏
- 8月25日 企画・事業委員会
 - ①今年度の事業計画および予算について
- 8月29日 厚生委員会
 - ①今年度の事業計画について
 - ②ソフトボール大会について
 - ③社員園遊会について
 - ④ゴルフ大会について
- 8月30日 財務金融委員会
 - 運転資金の転貸について
- 8月30,31日 健康診断(第1部)
- 9月1,2日 健康診断(第2部)
- 9月3日 理事会
 - ①運転資金の転貸について
 - ②福利厚生事業の結果と予定について

- ③不燃物有料回収について
- ④違法駐車指導結果報告
- ⑤問屋神社秋季例祭について
- 9月4日 第39回中部日本都市対抗軟式野球金沢ブロック予選大会 於 金沢市民野球場
 - 野球選抜チーム 2-8 金沢市役所
- 9月9日 宇都宮繊維卸協同組合来局
- 9月13日 広報委員会
 - ①次号について
- 9月28日 不燃物有料回収
- 10月3日 理事会
 - ①景況調査報告
 - ②福利厚生事業の結果と予定について
 - ③諸江分団消防会館建設寄付金について
- 10月24日 労務委員会
 - ①合同求人事業について
 - ②労働事情実態調査について
- ” 厚生委員会
 - ①ゴルフ大会について

金沢・町名由来 ① 「武蔵町」

今回より「金沢・町名由来」を歴史、文化の面から取りあげ、シリーズでお届けいたします。

第1回は、武蔵町です。武蔵町は、昭和45年3月の住居変更によって生まれた新町名です。それまでは武蔵ヶ辻として一般に親しまれてきました。武蔵ヶ辻の地名の由来についてもいろいろの説があります。郷土史の資料「三州名蹟志」「金沢探秘録」「金沢細見図譜」にそれぞれその由来が記されていますが、三者三様で、みんな面白いことにちがっています。このうち金沢細見図譜と加賀武士町細見之図によると、中川武蔵守光重入道宗半の屋敷が袋町からこの辺まで延びていて、その家柄町人、武蔵屋が田守呉服店跡、つまり現在の名鉄丸越のところで、代々木綿問屋を営んでいたとあります。中川武蔵守光重は織田家の血をひく家柄で、利家の二女を嫁にして二万石を領していたことが金沢古蹟志などで明らかですし、慶長10年のかみなりで金沢城が焼けたとき、女中衆が堤町の中川宗半宅に避難したことも記されています。ですから武蔵ヶ辻の由来は、どうやらこの説が一番近いようです。45年3月の住居変更で、旧の石屋小路、柴町と下堤町、松々枝町、高岡町下敷の内、安江町、七宝町、白銀町の各一部が武蔵町に町名変更されました。石屋小路は、金沢城の築城や石垣修理のための石職人が住んでいたところ

から、町名が生まれたといわれています。中央市場が開設されるまで、ここは青草市場として市民に親しまれ、住吉市場と呼ばれていました。柴町と松ヶ枝町の一帯が遊郭としてにぎわったことを知る人は、いまは少なくなりました。柴町と松ヶ枝町に遊郭ができたのは明治6年です。昔は暗きよといった不粋なものはなく、そこにせせらぎがありました。北の郭といっていました。東と西の郭に対抗したものです。ところが明治31年、金沢に鉄道が開通すると「鉄道が開通し、世は文明開化というのに、遊郭が街の真ん中に居すわるのはもってのほか……」というので、一斉退去、廃業ということになりました。次回は尾張町です。



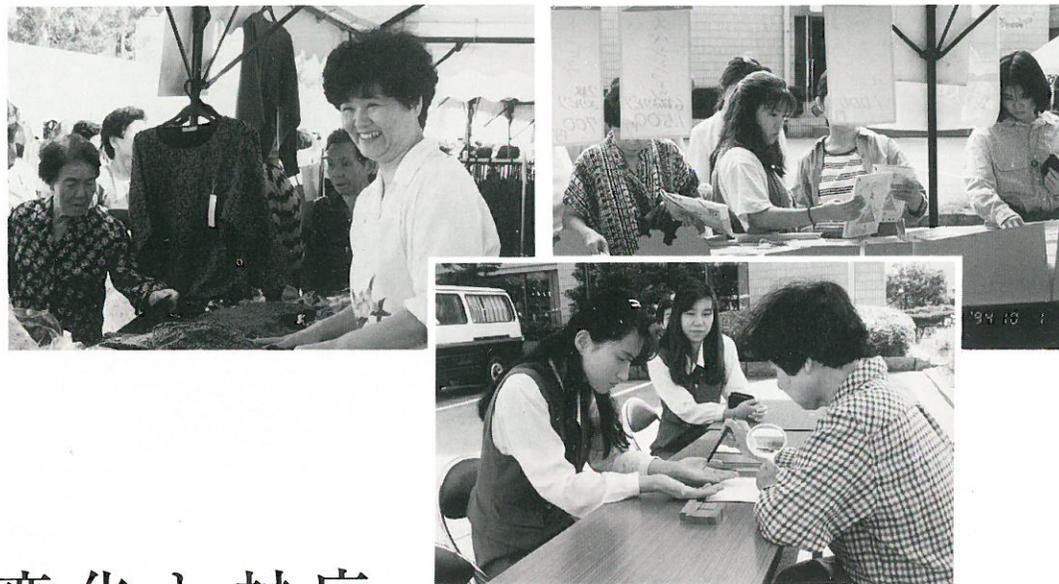
尾張町から武蔵ヶ辻方面をのぞむ(大正8年)

金問屋センターニュース

1994.11

No. 60

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目01番地 ☎37-8585 ●発行者/宗廣満夫



(協)金沢問屋センター
副理事長 堀川 善昭

変化と対応

今春定時総会後に宗廣満夫理事長より副理事長として委嘱があり、この重大な時期に浅学非才の自分の力で本当にお役に立つのかと何度も考えました。しかし、私たちが今まで深くお世話になった諸先輩方のご支持があるのならと思ひ、誠に僣越ながらお引き受けさせていただきました。私の役割は理事長補佐として、組合員諸兄とのパイプ役に徹して金沢問屋センター発展に寄与することだと思ひますので宜しくご支援をお願いいたします。

さて我々に与えられた使命は戦後の物不足貧困からの脱出という戦いの社会から、国際社会の中で英知と正義と情熱によるリーダーシップを発揮して未知への道を切り開き、物心両面に豊かな社会を造らねばならないことだと思ひます。

とは言うものの、バブル崩壊後の長期的消費不況、それを契機とした価格破壊、流通業界の再編成、さらに広がる雇用不安など我々を取り巻く厳しい環境は未曾有のものであります。そのような激動の中でこの金沢問屋センターの将来ビジョンをどの様に描くのかという事が我々執行部の役割と理解いたしております。

また、十年単位で変化を見ても確実に高速道路、航空機、鉄道新幹線など交通手段の発達は何れも拡大を意味し、特に高速大量物的輸送の進展が見られると思われれます。情報システムの発達もアナログからデジタルに転換されることにより今まで以上の情報の量、質、スピードに格段の発達が約束されています。いわゆるマルチメディア時代に入ることにより日常生活は今までに無かった生活パターンが展開されると思われれます(例えばCATV通販、在宅勤務、テレビ会議)。そして、過去二十年間にわたる出生率の低下は現実のものであり、少子化と高齢化現象は今までとかなり異なった人口問題を起こすと思われれます。いわゆる労働力としての人間を、人手という消耗品から人材として資源化していくことも必然的になさねばならないと思ひます。

最後に環境立地の問題として駅西地区に県庁移転も具現化し、これまでの金沢の駅裏ではなく北陸地区行政の中心地となることも確実だろうと思ひます。

このような観点から見ても我々自身がどの様に対応しなければならないのかは業種業態によってそれぞれ違ひはあるにしても変化しなければならないのは必然であろうと思ひます。そのために生活の匂いのする街づくり、技術進歩にマッチした多機能設備、未来に夢を持てる人づくりのための施策が肝要ではないでしょうか。

第7回 ゴルフ大会

11月3日(木)、「片山津ゴルフ倶楽部山代山中ゴルフ場いぬわしコース」において、第7回ゴルフ大会が開催された。

			G	H	N
優勝	小倉外志朗	小倉(株)	84	14.4	69.6
準優勝	玉井 義昭	(株)タマイ	87	14.4	72.6
第3位	宮前 正俊	川上産業(株)	109	36	73
第4位	伊藤 淳蔵	(株)アイネックス	92	18	74
第5位	小倉隆太郎	小倉(株)	89	14.4	74.6
第7位	中山 達夫	山和(株)	93	18	75
第10位	加藤 肇夫	ウィルビー(株)	95	19.2	75.8
第15位	松永 邦夫	丸与商事(株)	91	13.2	77.8
第20位	長瀬 祐二	富木医療器(株)	105	25.2	79.8
第25位	堀川 善昭	(株)堀川商店	115	31.2	83.8
第30位	関戸 孝	金沢問屋センター	127	31.2	95.8
ブービー賞	徳田 好彦	多田与(株)	137	36	101



- ベスグロ賞
川崎 晃 川崎(株) 78番
- ニアピン賞〔OUTスタート組〕
川崎 晃 川崎(株) 7番
前垣内要介(株) 前垣 12番
- ニアピン賞〔INスタート組〕
関戸 孝 金沢問屋センター 7番
吉河 智之 川上産業(株) 12番
- ドラコン賞〔OUTスタート組〕
山田 博之(株) 丸昌 9番
川崎 晃 川崎(株) 18番
- ドラコン賞〔INスタート組〕
英 浩三 川上産業(株) 9番
松永 邦夫 丸与商事(株) 18番



金沢問屋団地野球連盟 平成6年度成績表

成績			北陸通信工業	大 宗	アイネックス	小 川	北村電機産業	石 織
優勝	北陸通信工業(株)	4勝1敗	●	● 3-5	○ 8-0	○ 14-1	△	○ 13-1
準優勝	大 宗 (株)	3勝2敗	○ 5-3	●	● 4-5	○ 7-0	● 2-6	○ 11-4
準優勝	(株)アイネックス	3勝2敗	● 0-8	○ 5-4	●	● 2-9	△	○ 13-3
第4位	小 川 (株)	2勝3敗	● 1-14	● 0-7	○ 9-2	▲	▲	○ 13-0
第4位	北村電機産業(株)	2勝3敗	▲	○ 6-2	▲	△	▲	▲
第6位	石 織 (株)	1勝4敗	● 1-13	● 4-11	● 3-13	● 0-13	△	▲

○勝 ●敗 ◎引分 △不戦勝 ▲不戦敗

物流文化の構築に向けて

協金沢問屋センター

情報物流委員長 矢部 嶺 男

いま我々卸売業が成長していくためには、採るべき戦略は大きく5つに分けられる。それは、①得意先戦略 ②情報化戦略 ③物流効率化戦略 ④リテール(小売)サポート戦略 ⑤多角経営戦略である。その中から21世紀に向けて欠くべからざる物流戦略に焦点をあててみたい。今や「物流を制するものは企業を制する」と言われるように物流戦略は企業の経営基盤整備に欠かせない重要な要素である。「経営改善は倉庫に始まり倉庫に終る」とも言える。つまり卸売業においてはあらゆる経営機能が物流(倉庫)というゲートを通過し発展していく。従ってそのあり方を考えることは経営改善の第一歩であり、また常に改革が必要という点では永遠のテーマでもある。現実はその重要性が忘れられ、企業規模の拡大だけに目を奪われることが多いが、基本は

- ①限られた倉庫スペースで効率的な運用をするための原則の確立
 - ②「決算の全て」と言われるコンピュータ在庫と現物在庫のマッチング実現の方法
 - ③効率的・効果的配送体制を構築するための座標軸の確立——の3点がポイントになる。
- いま、日本の複雑な流通経路が商品の価格を引上

げているのではという批判もある。21世紀型卸売業は消費のトレンドを瞬時にメーカーの生産体制に直結させ、またメーカー情報をいち早く小売店に流し、支援していく重要な使命を持っている。特に在庫管理とその適正化が利益を産むかどうかの分岐点であり、在庫の棚卸は期間損益に大きな影響を与える。コンピュータと現物の差異をゼロに近づけ、これこそが「決算の全て」という認識に立ち、21世紀に相応しい独自性のある物流文化をつくりあげること、ここに卸売業の歴史的使命を見出したい。

見方を変えて言うならば、金沢問屋センター各組合員の物流に対しての現状と今後は、おそらく物流システムの優劣が勝ち残りを決めることになると思うが、情報物流委員会の基本的考えは、保管・配送・流通加工など単に物流の個別機能ごとの効率化ではなく、仕入から納品までを一貫して効率化する物流システムと情報システムの構築を必須条件としており、物流や情報システムは極力共同化することが望ましいと考え試行に向かっている。

今後、委員会として金沢問屋センターの「共同物流システム」構築に向けて最善の努力をまいります。

通商産業大臣表彰受賞

9月29日(木)、東京の日本青年館大ホールにおいて全国中小企業団体中央会主催により、中小企業等協同組合法施行45周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行35周年記念式典が開催され、当組合及び越原前理事長が通商産業大臣表彰を受賞した。

中小企業等協同組合法施行45周年式典
通商産業大臣表彰(優良組合)受賞
協同組合金沢問屋センター
通商産業大臣表彰(組合功労者)受賞
株)コシハラ 会長 越原 哲郎氏

事務局だより

8月2日 会館運営委員会

①収支報告について

8月3日 理事会

①委員会規約の見直しについて

②違法駐車指導と黄線引き実施について

③BGM引込線の張り替え工事について

④共同物流事業の経過報告

8月5,8~11日 成人病予防検査

8月7日 問屋町納税貯蓄組合

立山日帰りバス旅行